

【褒賞登録申請書・概要書】

事業名称	青少年育成事業 ～高校生よ、起業家たれ！～
申請部門	・ 対外事業部門 ・ 対内事業部門

申請 LOM	一般社団法人境港青年会議所		
LOM 番号	294	LOM の人数	16
理事長名	平野 陽平		
担当者名	田中 大志		
担当者携帯番号 (半角)	080-5237-9467	担当者 E-Mail (半角)	tanaka-daiji@tkcnf.or.jp

本事業の参加者	会員数	延べ 30 名	会員参加率	100%
	関係者数	20 名	一般参加数	500 名
事業実施に至った背景 200～400 文字程度	我が国では起業家が諸外国に比べて少ないと言われており、その原因として失敗に対する危惧や突出した行動に低評価が付けられやすい学校教育制度などが挙げられます。ビジネスを興す人たちだけでなく、雇用される人にとっても起業家精神を身に付けることは重要であることが指摘されています。とりわけ、近く社会人になる高校生にとってその重要度は高く、起業家精神を身に付ける機会を提供する意義があると考えられます。			
事業の目的 200～400 文字程度	本事業を通じて、高校生が自ら主体的に考え行動する能力の向上を図るとともに、彼らが社会で活躍できる力を養うことを目的としています。			
事業の概要 200～400 文字程度	<p>本事業では、高校生に市場調査、販売戦略の立案、収支計算を含めた出店計画を立てるという実践的なプロジェクトを通じて、起業家精神を身に付けてもらうことを目指すものです。地元の高校の総合学習の授業と連携し、当会に所属する会員が社業で培った知見を座学形式で高校生に伝えるインプット部分と、高校生の瑞々しいアイデアを実現可能なビジネスの形に落とし込むアウトプット部分に分けて構築しました。</p> <p>今回の出店の舞台は、地元で約 5 万人の来場者が訪れた「Sea 級グルメ全国大会 in 境港」と同時開催することとなった、当会が独自事業として取り組んでいる「さかい夢みなと朝市」です。</p> <p>他の出店者と同条件で「利益を出す」という具体的な目標を掲げるリアルなビジネス体験を通じ、学校教育の場では経験できない貴重な体験を提供することができました。</p>			

開催時期・ タイムスケジュール	2024 年 7 月 26 日 (水)～2024 年 12 月 4 日 (水)																																																										
	朝市当日	11 月 9 日 (土) 9 : 00～16 : 00 11 月 10 日 (日) 9 : 00～16 : 00																																																									
開催場所	出店当日：夢みなと公園 準備段階：境港市都市整備課、境港市役所第六会議室、上道公民館、ボヌール洋菓子店																																																										
事業区分 新規・継続	新規																																																										
公益・共益区分	公2 人財育成事業																																																										
事業総予算・収支 200～400 文字程度	<p>高校生に対してリアルなビジネスを体験してもらうため、高校生と一緒に予算を立てました。座学のインプット部分で「利益を出す」ということの必要性を伝え、通常の企業であるのと同様に原価計算を行い、限界生産量から損益分岐点売上を割り出し、販売単価設定を行いました。</p> <p>その結果、目標販売数を超える販売を実現できたため、販売収益だけで想定以上の黒字を出すことができ、余剰金は全て高校生の通う高校の生徒会に寄付しました。予算・収支の概算は以下の通りです。</p> <p>【予算・収支】 (単位：円)</p> <table><tr><td></td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>差異</td></tr><tr><td colspan="4">(収益の部)</td></tr><tr><td>販売収益</td><td>315,000</td><td>343,700</td><td>△28,700</td></tr><tr><td>事業繰入金</td><td>100,000</td><td>0</td><td>100,000</td></tr><tr><td>雑収益</td><td>0</td><td>350</td><td>△350</td></tr><tr><td>収益計</td><td>415,000</td><td>344,050</td><td>70,950</td></tr><tr><td colspan="4">(費用の部)</td></tr><tr><td>会場設営費</td><td>20,000</td><td>20,000</td><td>0</td></tr><tr><td>企画・演出費</td><td>243,410</td><td>239,048</td><td>4,362</td></tr><tr><td>広報費</td><td>4,544</td><td>7,050</td><td>△2,506</td></tr><tr><td>渉外費</td><td>40,000</td><td>77,952</td><td>△37,952</td></tr><tr><td>予備費</td><td>107,046</td><td>0</td><td>107,046</td></tr><tr><td>支出計</td><td>415,000</td><td>344,050</td><td>70,950</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>				予算額	決算額	差異	(収益の部)				販売収益	315,000	343,700	△28,700	事業繰入金	100,000	0	100,000	雑収益	0	350	△350	収益計	415,000	344,050	70,950	(費用の部)				会場設営費	20,000	20,000	0	企画・演出費	243,410	239,048	4,362	広報費	4,544	7,050	△2,506	渉外費	40,000	77,952	△37,952	予備費	107,046	0	107,046	支出計	415,000	344,050	70,950	収支差額	0	0	0
	予算額	決算額	差異																																																								
(収益の部)																																																											
販売収益	315,000	343,700	△28,700																																																								
事業繰入金	100,000	0	100,000																																																								
雑収益	0	350	△350																																																								
収益計	415,000	344,050	70,950																																																								
(費用の部)																																																											
会場設営費	20,000	20,000	0																																																								
企画・演出費	243,410	239,048	4,362																																																								
広報費	4,544	7,050	△2,506																																																								
渉外費	40,000	77,952	△37,952																																																								
予備費	107,046	0	107,046																																																								
支出計	415,000	344,050	70,950																																																								
収支差額	0	0	0																																																								
協力団体	共催	Sea 級グルメ全国大会 in 境港実行委員会																																																									
	協賛	なし																																																									
	後援	境港市、鳥取県立境高等学校、ボヌール洋菓子店																																																									
	その他	なし																																																									
事業対象者	授業：高校生 6 名、教諭 1 名、ボヌール 1 名																																																										

<p>行動(ACTION TAKEN)</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>朝市一日目：高校生 12 名（境考学メンバー4 名、当日ボランティア 8 名）、教諭 1 名、ボヌール 1 名</p> <p>朝市二日目：高校生 8 名（境考学メンバー5 名、当日ボランティア 3 名）、教諭 1 名、ボヌール 1 名</p>			
	事業の日時、場所、内容については以下の通りです。			
	No	日時	場所	内容
	1	7 月 26 日（金）	境港市役所都市整備課	境港青年会議所、境港市役所との面談
	2	8 月 21 日（水）	境港市役所第六会議室	境高校、境港青年会議所と初回打合せ。 ・自己紹介 ・さかい夢みなと朝市とはなにか ・ビジネスとはなにか ・出店アイデアを出してみよう
	3	9 月 18 日（水）	境港市役所第六会議室	出店プランの構築 ・出店するうえでの注意点 ・原価計算をしてみよう ・マーケティングをしてみよう
	4	10 月 7 日（月）	上道公民館 ボヌール洋菓子店	専門家（ボヌール洋菓子店）へのヒアリング ・商品開発のポイント ・売れるためには ・大量生産できるかどうか ・商品のデザイン画作成 ・ボヌール洋菓子店にお願いできることの確認
	5	10 月 9 日（水）	上道公民館 ヌール洋菓子店	商品試作 ・デザイン画をもとに試作 ・材料の組み合わせを何パターンか試す ・大人に食べてもらい意見を聞く ・ボヌール洋菓子店のアドバイス
	6	10 月 23 日(水)	上道公民館	商品試作 ・商品設計の確定 ・当日の役割決め ・広報計画

	7	10月28日(月)	ボヌール洋菓子店	仕込み作業
	8	11月6日(水)	ボヌール洋菓子店	仕込み作業
	9	11月7日(木)	ボヌール洋菓子店	仕込み作業、新日本海新聞社より取材
	10	11月8日(金)	上道公民館 ボヌール洋菓子店	当日のシミュレーション、練習、日本海新聞の朝刊に掲載される
	11	11月9日(土)	夢みなど公園	さかい夢みなど朝市1日目
	12	11月10日(日)	夢みなど公園	さかい夢みなど朝市2日目
	13	12月4日	上道公民館	決算報告
<p>結果 (RESULT)</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店後のアンケートで「良い経験になったか」に対し「良い体験になった」との回答が100%ありました。 ・出店前後のアンケート結果でビジネス知識（原価計算、マーケティング、変動損益計算書）についての理解度が、出店前は4段階中2が最も多かったのに対し、出店後は3が最も多く、理解度が1段階高まりました。 ・「利益を出すための計画を立てる」という目的を立て、2日間の販売活動で利益を出すことができました。 <p>2. 上記の結果の想定外の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定よりも販売が好調で、予備の在庫も販売できたことから当初想定以上の利益を計上することができました。 <p>3. 上記の結果の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店前、出店後にそれぞれアンケートを取り、高校生全員に回答してもらいました。 ・出店後の決算作業を高校生と共に行い、決算による利益額と現金残高の一致を確認しました。 <p>4. 検証結果</p> <p>出店前と後で「原価計算」「マーケティング」「変動損益計算書」に対する理解度が向上していることがわかります。</p> <p>また、出店後のアンケート結果で「プロジェクト前後で意識に変化があった」と回答した割合が83.3%、「プロジェクトの経験は自分が将来社会に出る上で有意義な経験だった」と回答した割合が100.0%でした。知識の習得に一定の成果が見られるのと、全員が有意義な経験だったと感じていることから目的は達成できたものと判断します。</p>			

<p>地域社会への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>当事業の位置づけは、朝市の出店という実践的なビジネス体験を通じた次世代アントレプレナーシップの育成事業です。起業家が少ないことが喫緊の課題として注目されているわが国において、起業家精神の育成は急務ですが、学校教育の場においてはノウハウ不足や人材不足などが原因で十分な展開ができていないのが現状です。</p> <p>このような状況下で、当会の主催する「さかい夢みなと朝市」の中で社会に出る前の高校生が主体的にリアルなビジネスを体験できる場を提供することは大変意義深いものと考えます。</p> <p>当事業の対象となる高校生は1チーム6名ですが、今回の取組みは高校にとっても高校生にとっても参考になる一事例として全体に波及することが期待されます。</p>
<p>LOM への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>当会の実施する事業「さかい夢みなと朝市」は、境港市の各種団体の連携強化と夢みなと公園の利活用による賑わいの創出を目的として 2023 年から実施しておりますが、地元の高校生に積極的に関わってもらうことで起業家精神の学びの場としての新たな意義が創出されました。今後も同様の事業を継続して行うことで、「さかい夢みなと朝市」の事業の価値はより強固なものとなっていくことが期待されます。</p> <p>また、高校生の自由な発想と目標に向かってひた向きに取り組む姿は、会員含め周りの大人たちの心を突き動かしました。朝市の現場で高校生の店舗が声を枯らして呼び込みをしている姿は、他の出店者にも影響を与え、朝市全体の活気を創り出していました。若い力がこうした事業に主体的に関わることで、当会だけでは創出できない賑わいをもたらすことができるという学びになりました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>若者の起業家精神の育成は、VUCA (Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) 時代において必要性が指摘されています。それは、コロナや戦争、自然災害など、これまで想像もし得なかったことが矢継ぎ早に起こる世の中で、「正解のない問い」に対して、それでも一定の答えを出し続けなければならないためです。</p> <p>学校教育の現場では、こうした起業家教育の重要性が認識されているものの、教育者の不足により十分な教育ができないという課題に直面しています。当会の会員の多くは若い経営者であり、高校生に近い視点で社業での知見を活かしたビジネスについての教育を行うことができます。当会含め地域の大人たちが学校教育について関わることで、若者の起業家精神の育成と地域コミュニティの連携強化の一助となることが期待されます。</p>

<p>考察や推奨</p> <p>200～400 文字程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生は総合学習の授業以外の時間は、部活やテスト期間と重なると全員揃う事が難しくなります。事前に担当の教諭を交えてスケジュールの調整を密にする必要があります。 ・高校生と直接 LINE 等のメッセージアプリで連絡を取り合うことに対してはやめてほしいという意向を高校側から伝えられましたが、教諭をグループに加えた LINEWORKS でのやり取りは認められました。 ・今回はボヌール洋菓子店様の全面協力により試作に関してかなり充実したのになりました。次回同様のことをやる上では連携するパートナーが非常に重要であり、先にパートナーの目星をつけてからできることを考える必要があります。 ・今回の高校生はやる気がある方でした。そのため短期間で濃いスケジュールをこなしてくれましたが、人によってはモチベーションに差があると考えられます。事前の顔合わせ時に見極めておく必要があると考えます。
<p>改善点</p> <p>200～400 文字程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・座学の時間よりもディスカッションやシミュレーションを自分たちで考える時間の方がいきいきしていました。プログラム全体の構成は手を動かす時間を多めにとった方が良くかもしれません。 ・高校生に対してビジネス基礎の授業を行いました。生徒によってはあまり理解が進まなかったようです。全体の学力レベルを事前に確認したうえで授業を構築することで理解度が高まるかもしれません。また授業内容のシミュレーションを十分に行い、高校生に伝わりやすい形で授業をする必要があります。 ・参加出来なかった高校生へ授業内容を伝える手段を考える必要がありました。 ・販売個数の照合に時間がかかりました。次回からは販売個数を帳簿につけておく確認がしやすいと思います。
<p>その他</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>7 月からの構築となり非常に時間がない中でしたが無事に当初思い描いていた「高校生に実践的なビジネス体験の場を提供し、社会に出る上で必要なスキルを身に付けてもらう」という目的は一定程度の達成を見たと考えられます。十分な時間がない中でしたので、本音を言えばもう少しじっくりと高校生と向き合う時間がほしかったところですが、逆に限られた時間で集中して事業に取り組むことができたとも思います。高校生が最初は消極的だったところ、時間が経つにつれ自ら主体的に考え行動する姿勢が多く見られるようになったところが何より嬉しかったです。高校の先生にも高く評価をしていただき、来年以降もぜひ一緒にやりたいですと言ってくれましたので、今後も継続事業としていきたいと思っています。</p>
<p>当日のストーリー写真</p>	

(PDF)	〔ボヌール洋菓子店にて〕	〔朝市終了後記念撮影〕
メディア掲載写真 (PDF)		
	〔高校生の開発した『境考パフェ』〕	〔ビジネスを学ぶ座学による授業の様子〕
その他参考資料 (PDF)		
	〔日本海新聞 2024 年 11 月 8 日朝刊掲載記事〕	
		
著作権及び肖像権	権利侵害が無い事を確認したらチェックをしてください。 <input checked="" type="checkbox"/>	